



新井 幹一さん（田島・74歳）

明和で生まれた 新品種のもも 『明和の乙女』



④

「新品種のもも『明和の乙女』を町の振興のためにも、今後いろいろな方面にPRしていきたい」先月22日に官報に品種登録された新品種のもも「明和の乙女」の栽培に取り組んできた明和町桃組合長の新井さん。

「明和の乙女」は7月上旬から中旬に収穫される早生種。「15年前に3種類ももの木を植えたが、その内の白桃『川中島』の木が少なかつたのがきっかけで、ハナモモに『川中島』を接ぎ木したところ思った以上にいい実がなつて驚いた。最初は、品種登録をするつもりはなかつたが、東部農業事務所の間根さんや、町、組合員等の協力があ



つたからこそ新品種が認められたと思いますよ」と、新品種誕生のきっかけを話します。

「ももは太陽を浴びるほど実が大きく甘くなるため、梅雨の時期と重なる早生種は育てるのが難しいし、日々の管理などにかく手のかかる『わがまま娘』なものだからこそ、皆さんに食べて喜んでもらえればうれしいです」と穏やかな口調ながら力強く語ってくれました。

現在、「明和の乙女」がなる木は約20本。最初は新井さん一人で栽培を初めたが、これからは組合員6人全員で取り組んでいきます。まだ、数に限りはあるが4、5年後の春にはももの花が咲き誇り、辺り一面に桃色のジュータンが広がり、7月上旬から中旬までには、多くの人が口にできることでしょう。

みんなの声

このコーナーでは、皆さんからお寄せいただいた「町への手紙」や「町民の声（ご意見箱）」の一部とその回答をみんなの声として掲載しています。なお、スペースの関係で質問の内容は一部簡略化させていただきます。

Q 敬老慰問時の記念品の配布について

敬老慰問の時に、65歳以上の人全員に対して記念品の「アメ」を各老人クラブで配布していますが、区長さんから配布するように出来ないでしょうか。

（梅原・男性）

A 今までどおりお願いしたいと思います

町では敬老の日に会わせて、毎年9月に敬老慰問品と敬老年金を配布しております。86歳以上のかたには町から直接配布をしておりますが、65歳以上のかたには、各地区の老人クラブの役員さんにご協力いただき配布をしております。

町では、各老人クラブに対して色々な補助金を交付していますが、その中の一つには交通費等補助金として、会員割・均等割・65歳以上の人口割という算出に基づいて100万円を交付しています。老人クラブに加入しているかただけではなく、加入していないかたの分も人口の割合に応じて補助金を交付していますので、各老人クラブの役員の皆様には大変なご苦労をおかけいたしますが、65歳以上のかたの記念品の配布につきましては、今までどおり老人クラブの皆様によって配布をお願いしたいと考えております。

（保健福祉課）